

同居の実感と 異色の女子会。

ハーベルハウス
2.5世帯ものがたり
完結篇
～第1話～

「独立」と「シェア」は両立できるだろうか？

右の写真は娘の春香。将来の夢はアイドルグループのセンターか、朝ドラのヒロイン。夢の大きさにブレがない。立派。パパの夢はキミがすこやかに育つこと、です。あ、申し遅れました、僕の名は吉田孝則三十五歳。家族は三つ下の妻、恵と六歳の翔太（イケメン。全面的に母親似）と四歳の春香（可愛い！）。うちの家族はこの春から、僕の両親と三十八歳で独身の由紀子姉さんと、実家の家を建て直し、同居を始めている。いま流行の「2.5世帯」暮らしというやつだ。今日は久しぶりに二つの家族が集まれる空間「ビッグテーブル」で、七人全員で食事をする日だ。「六十を過ぎて美肌を保つ秘訣（美容）」「三十五から女はグッと艶がでる（女性論）」「次に来るスイーツはこれ（グルメ）」「リス組のさとるくんとりえちゃんはずすぎどうし（恋バナ）」など。母、姉、妻、娘という、女子“たちのトークがはずむ。親父と僕と翔太は完全に蚊帳の外だ。こんな世代を超えた女子会も、2.5世帯ならではの幸せなひと時だ。DVDや本をシェアできる「シェアライブラリー」もみんな上手に使っている。妻は姉所有の海外ドラマに、姉は妻お気に入りの人気漫画に、六歳の長男は親父秘蔵の落語CD(!?)に最近ハマっている。共働きでの子育てにも両親と姉は気を配ってくれる。ありがたい。姉は自分の部屋に、妻は新居にご満悦のようだ。いいぞいいぞ。玄関もお風呂もキッチンも完全に分離しているのがうれしい「ハーベルハウスの2.5世帯住宅」。とはいえ不慣れた同居暮らし。お互いの家族への配慮から多少のストレスも出てくるだろう。そこは、二つの世帯の真ん中にいる僕がしっかりケアしていきたいと思う。核家族でも、ふつうの二世帯でもなく。2.5世帯で集まり、交わり、力を合わせて暮らす。その可能性を、強さを、歓びを。僕らは信じている。

（明日掲載予定の広告紙面に）

※前シリーズはハーベルハウスHPへ。

2.5世帯住宅で、暮らしませんか？

考えよう。答はある。

ハーベルハウス



0120-917-555

電話受付時間／10:00～17:00（火曜・水曜定休日）
※地域により留守番電話になっている場合がございます。

<http://www.asahi-kasei.co.jp/hebel/>

【個人情報の利用目的について】お問合わせ・資料請求でいただいた個人情報は ●カタログ・資料の送付・見学会・セミナー等の各種イベント等のご案内 ●建築計画の提案、図面・書類等の作成のための各種調査・サービスのご提供 ●商品やサービス等の開発・改善のためのアンケート調査の実施等に利用させていただきます。詳しくは「プライバシーポリシー」として弊社ホームページにて公表しています。